

2005年(平成17年) 2月1日火曜日(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別) 発行所/天台宗出版部 発行人/出版室長 工藤 秀和 〒520-0113 大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内 電話 077-579-0022 (代) Eメール/T-Press@tendai.or.jp

一隅を照らす運動推進会報 (一隅推進会員) 年度会費(2500円)中に会報(天台ジャーナル)購読料を含む。

極微 ごくみ

人間が、実感できる「時間」というものは数十年だといわれる。百年も先のことは、極端に言えば、関係ないのである。事実、百年前後のうちに地震が起こる」との予測に、東南アジアの役人は「じゃあ、あと百年ぐらいいは対策を立てなくていいですね」と答えたという。「今」だけしか考えないのでは、智慧も科学も無用の長物である。環境問題もそうだが、自分一代限りではなく、これからの人々が生き延びる対策を考えねばならない。スマトラ沖地震はその警告のように思える。

スマトラ沖大地震・インド洋大津波

西郊総長、現地を視察

救援活動の緊急性を訴える



昨年末のスマトラ沖大地震での津波被害は死者・行方不明者が二十九万人を超える未曾有の大惨事となった。全世界から救援の手が差し伸べられているが、天台宗でも、一隅を照らす運動総本部の「地球救援募金」を窓口には救援活動

津波に襲われたブーケット島を視察する西郊総長(天台宗務庁・国際課撮影)

新潟中越地震では信越教区新潟部の各寺院も大きな被害を受けたが、被災地は

新潟中越地震被災寺院に復興支援金を贈る



今、厳しい冬を迎えている。例年にも増して降り積もる雪の中、現地では、春

からの本格的な復興作業に向けて、様々な努力が続けられている。天台宗では、去る十二月十六日に信越教区の被災寺院に対する災害復興支援金査定委員会を開き、被災寺院十二カ寺への支援額を決めた。支援金は全壊、半壊など四ランクに分けられ、総額二千数百万円の支給が決定された。災害対策本部は十二月二十四、二十五日、壬生照道一隅を照らす運動総本部長及び小山健英現地对策本部長ら関係者を現地に派遣し、各被災寺院に支援金を贈った(写真)。

スマトラ島沖でM9.0の大地震・大津波 海外緊急救援支援について(ご依頼) 郵便振替 口座番号 01050-1-69505 加入者名 一隅を照らす運動総本部 地球救援募金事務局 通信欄 インド洋大津波支援金 締切日 平成17年2月末日 問い合わせ先 〒520-0113 大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内 一隅を照らす運動総本部「地球救援募金事務局」

津波によって被害を受けた地域で今後問題となってくるのは、感染症への対策や、被災者の心のケアなどソフト面での長期的な支援体制である。去る一月十五日、公務でタイ入りしていた西郊良光宗務総長は急速地球救援募金から、プラティープ財団国際部「津波プロジェクト」に一時義援金を手渡し、その後被災地であるタイ・ブーケット島のカオラック地区を視察、現地の生の声を聞いて回った。西郊総長は「被災地を視察

法灯 少子化時代 天台宗布教師会理事 松村宗哲 日本の女性が一生の間産む子どもは、一・三九人だそうです。このままでいけば、二千年には一億二千六百万九十三万人の日本の人口が、二千年には四千六百四十五万人(低位推計)と、三分の一になってしまうと推計されています。 その原因のひとつに、結婚しない男女が増えたこと、若い夫婦が子どもを欲しがらないことが指摘されています。「経済的に一人っ子でよい」「出産しても育てる環境が充分でない」

決意を示した。阪神大震災や中越地震を体験した我々としても、「己を忘れて他を利する」という宗祖大師の御心を体した救援活動が求められている。

「和尚さんは、悟っているのですか?」と聞かれることがよくあります。

ある行者さんのように「行をしたからといって、悟れるというものではない。ただ異常な体験をしたにすぎない」と言えれば、まだ格好もいいのですが、私などは「仏道に精進してはおりますが、まだまだ凡夫。仏さまではないので、悟ってはおりません」と答えるのが、やっとです。

それは、お釈迦さまの悟りの境地に達するのが理想ですが、僧侶といっても人間です。色々と悩みがあれば、失敗もします。それゆえに、毎朝、仏さまに「本日もよろし

悟り

天台宗出版室長

工藤 秀和

くお導き下さい」とお経をあげ、夕方には「今日も、こんな失態をしでかしました。申し訳ありません」とお詫びしています。そうすると仏さまが「是非もない。お前も、まだまだじゃない。明日は頑張れよ」と許して下さるので、明日への元気が出るという、悟りとはほど遠い毎日です。

しかし、私は(自分は、仏さまのお許し、慈悲を頂かなくては、生きていけない欠陥だらけの人間だ)と自覚することが、実は悟りへの第一歩ではないかと思っているのです。それは自分の弱さを知ることでもあります。

そう思えば、他人を許すこ

とができます。戦争などという野蛮な行為も、「こちらのほうが絶対正しい」という「正義」から始まることを、私たちは見ました。確かに、生きる上で正義は必要ですが、自分自身を考えてみると、おまえは正義だけで生きているのか、という疑問が湧きます。むしろ些事に一喜一憂し、日々をおろおろと生きているに過ぎません。

仏さまに許され、隣人に許し許されて、ようやく息をついている自分であることを見つめると、雪に押しつぶされそうになりながらも春を待つ、草木の息吹が聞こえてくるように思われます。

一番難しいことは? ネエモン 天台の法を弘めることが難しいのではなく、いかにアメリカ文化と合う方式を考えるか、その手法を考えることが一番困難なことだと思っています。

アメリカは成功者こそ勇者、勝者こそ存在価値あるという文化だと聞



写真はネエモン住職夫妻。通訳は夫人の珠美さんをお願いした。

天台宗ニューヨーク別院 本堂落慶記念参拝団

三千院門跡小堀光詮御門主御親修

期 間 平成17年6月24日(金)~29日(水)

旅行代金 254,000円

募集人員 100名

申込締切 平成17年3月末日

宿泊先 ニューヨーク・ヒルトンホテル(4泊)

主催 天台宗海外伝道事業団

申込先 (株) 阪急交通社 東京団体支店営業2課
「天台宗ニューヨーク別院本堂落慶記念参拝団」係
担当者: 永野・山本・落合
TEL 03-3508-0280
FAX 03-3508-0368

INTERVIEW

いかにアメリカ文化と合う方法を考えるかー

ニューヨーク別院、ネエモン住職に聞く

本堂建設が進んでいる天台宗、ニューヨーク別院の間、ポール・ネエモン住職に、アメリカで天台の教えを弘めている苦労について聞いた。

置つけは? ネエモン 富が成功の証であり、経済至上主義になっているのは、現代において日本も同じでしょう。富のみではなく、欲望を強く抑制する中に人間の発展があると思いま

ネエモン 確かに経済的には厳しいが、さほど辛くありません。天台宗からの協力には感謝しています。本当に辛いのは時間がないことです。自分の力を有効に使うための時間がありません。アメリカでは、葬儀よりも結婚式、あるいはカウニング、瞑想(Meditation)という要望が多いのです。多くは

と確認しています。



花想 風言

フクジュソウは江戸時代の正徳、元禄から旧暦正月の床飾りにされ、「元日草」ともはやされた。明治になって暦が改まり、新年が早まった。栽培業者は暦にあわせ加温して芽を出し、その上、ビニールテントで蒸すから、店頭に並んでいる花は未熟でひ弱なのだ。桑畑で自然栽培した花は、昨年は出荷値段が一芽四〇〇円で、おいそれとは買えなくなってきた。

キンポウゲ科の多年草。日本列島、朝鮮、中国東北部、シベリアのアムール川周辺にまたまって咲く。「和漢三才図会」には「洛東溪随処にコレ有り、冬枯レテ春宿根ヨリ生ズ...半開

第11回 フクジュソウ 福田徳衍(文・写真)

の菊花二似たり、人珍トナス」とある。

筆者が中学生になったばかりの浅春、故勸修寺信忍さんに連れられ、叡山無動寺谷から黒谷青龍寺へ出掛けた。近くの斜面をフクジュソウが占拠し、春の陽射しに向かって金色の花びらを開いているのを見た。植物の知識が深い勸修寺さんに花の由来を教えてもらったはずなのだが忘れてしまった。その後、新聞で写真が紹介されたたん、心ない人々の乱獲に花の咲く聖域はあえなく消え去ってしまった。

暴力や戦争がはびこる中で、平和を望み、平和を訴えるというのが天台の教えです。そのことに共感する人々が多いです。

本堂建立の意義は? ネエモン 今までは、馬小屋を改築した本堂でした。それはそれで、家庭的な雰囲気でしたが、長い目でみると集会所や行院という形で、多くの人々に集まってもらえる新本堂建立は非常に意義があると考えています。

清貧というか、厳しい生活であると聞きますが。 ネエモン 確かに経済的には厳しいが、さほど辛くありません。天台宗からの協力には感謝しています。本当に辛いのは時間がないことです。自分の力を有効に使うための時間がありません。アメリカでは、葬儀よりも結婚式、あるいはカウニング、瞑想(Meditation)という要望が多いのです。多くは

マンツーマンの指導を望みます。そのために寝る時間もあまりないぐらいなのです。精神的なものを、より多く求めるからです。

信徒には、三つのレベルがあります。ひとつは信徒として週末の体験行、勉強会、瞑想を行うレベル。二番目は、仏教徒としてどうあるか、精神的に高めることが大事です。

三番目は堂衆と呼んでいるレベル。これは別院の信徒で十日間の行をするグループです。勉強会も継続して行います。

アメリカ布教の自信のほどはどうでしょう。 ネエモン 長年教えて、信徒の成長ぶりはめざましい。加えて事業団、天台宗の指導も頂いております。いま勉強している二十代、三十代の人々が四十代になる頃、つまりアメリカの天台を次の世代が担う頃には、本堂と行院の完成と相まって更に発展していると確信しています。

対談 医療と宗教の最前線から

浦井 正明 (うらい しょうめい)
1937年生まれ。1961年、
慶應義塾大学文学部史学科卒業。
東叡山寛永寺執事長。現職院住職。

野中 博 (のなか ひろし)
1947年生まれ。1972年、
東京医科大学卒業。同年東京医科
大学内科教室入局。1985年、
野中醫院開業。現在、浅草医師会
会長、日本医師会常任理事。

『人がよりよく生きるためには』(最終回)

効率とは別の価値

野中 医療だけではなく、宗教にも本来そういった役割があったんです。痴呆患者は、日々不安でいっぱいなんです。今、自分が置かれている状況を把握できないのですから。しかし、介護する人は、その人が間違っていたことをすれば直そうとする。子どもの場合は、しつけになります。痴呆患者の場合は、間違いを直されると、余計に不安になります。だからその不安を解消してあげることが一番大切なことです。痴呆問題などは、医療機関のみならず社会の中で、地域全体が支えないと、不安を募らせる一方になってしまいます。また、医療機関は、身体に異変があつて不安だから訪れる施設です。受付等の段階を経ないと治療が受けられない。そこで対応を間違えると、不安が不満になり

効率性だけで判断するのはおかしい 人と人とのふれあいが大切



不満が不信に繋がるのです。いかにコミュニケーションが大切かということ。核家族化というのも一因でしょう。本来、支えるべき家族が、子どもや老人を虐待されるのは、その家族にとって負担が大きいからです。昔は周りが悩み事を共有していたのですが、今の社会はすべてを効率という言葉で表現してしまうから、そこからはみ出た人たちというのは居たたまれませんか。

浦井 そうですね、世の中全体が効率で動くようになってしまっています。そこで効率とは全く無関係なお年寄りや、そのお年寄りを抱えた家族はもっと不安ですね。それに対してどう対処していくか。それは、われわれ宗教者の大切な仕事だと思えます。効率主義では片づけられない問題は、世の中にたくさんあるのですから。お寺に、「死ぬのは怖い。どうすればいいのですか」といった悩みを抱えて来られる人がおられますが、まず、その人が何を求めているのかを、時間をかけて、ゆっくり聞いてあげられるのです。それが、いま世の中に欠けていることだと思えます。聞いてあげること、その人の悩みの三分の一なり半分は解消されるのです。そして、精神的な安定感が戻ってくるということが大事なのです。

支えるものは？

浦井 私は、いますべてが効率主義になってしまっていることへの反省があります。人間というのは、心だけでもないし、腎臓だけでも肝臓だけでもない。家族や地域社会を引き支った形で存在しているはずなのに、ともすると個人を独立させて見たり、その人の言っている言葉だけで判断してしまふ。高木三郎という物理学者も「私の腎臓を診てくれる医者はいないが、丸ごとの私を見てくれる病院はひとつもなかった」と言っていました。それは、われわれ宗教者への指摘でもあります。お盆のお経を面倒くさがって行かないお坊さんもありますが、それは間違っています。年に一回でも二回でも行くことで、そのお宅の様子がわかる。ご家族の関係や考え方もおぼろげながらわかります。そうすれば相手の話をより理解することができ、信頼感や安心感を与えることが出来ます。

野中 人の役に立ちたいと思つて選んだ職業です。医師となつて治療をする上で、データは重要な部分を占めます。しかし、データは、全て正常値であっても、人は死ぬことがあります。そうすると、データだけに頼るのではなく、人と人との普段のふれあいが大切になつてきます。医師という職業を選んだときには、人の話を聞こうと思つていたのに、忙しさにかまけてなかなか思うようにはいきません。やはり、話を聞くと言ふことは大変重要ですよ。医師にしても宗教者にしても、死というものを通して人を支えたいという共通点があります。日々現場で、一緒に活動ができればすばらしいと思います。

浦井 世の中に名医と言われる医師が何人かいらっしゃいます。それは医療の技術的なことをいうわけですが、はたして、それが本当の名医だろうかと思うのです。それよりも患者との対話をもつたうえで、技術が伴えば面白いが、伴わなくても、この先生に手術してもらえただけでありたい、という感覚を持たせる人が名医だと思います。

野中 そういう視点で、患者に接しないといけませんよ。

浦井 人と人との出会いはとても大切なものですから。

野中 社会的な価値観も昔と違って、どうも違う方向に向いてしまつて、人の温かさなどを見ないで、効率性だけで判断してしまふのはおかしいですよ。何を大切だと思ふか自分なりの判断が必要ですよ。

浦井 これが正解というものはありません。人の生き方、また死に方というのはケースバイケースですから。ただ、よりよい生き方をするのが、よりよい死につながるということだと思います。

よりよい生き方をする ことが、 よりよい死につながる



野中 医療だけではなく、宗教にも本来そういった役割があったんです。痴呆患者は、日々不安でいっぱいなんです。今、自分が置かれている状況を把握できないのですから。しかし、介護する人は、その人が間違っていたことをすれば直そうとする。子どもの場合は、しつけになります。痴呆患者の場合は、間違いを直されると、余計に不安になります。だからその不安を解消してあげることが一番大切なことです。痴呆問題などは、医療機関のみならず社会の中で、地域全体が支えないと、不安を募らせる一方になってしまいます。また、医療機関は、身体に異変があつて不安だから訪れる施設です。受付等の段階を経ないと治療が受けられない。そこで対応を間違えると、不安が不満になり

前日光山輪王寺門跡 門主 鈴木常俊大僧正を悼む

妙法院門跡 菅原 信海

鈴木常俊日光山輪王寺門跡前門主は、旧臘二十八日、安らかに安養浄土に趣かれた。世寿八十一。若くして輪王寺執事局に入り、各部長を経て執事長に選ばれ、その重責を果たされた。のち中禅寺執行を経て、日光山門主に推薦された。庶務部長・執事長の頃、東照宮との間で争われた七堂塔所有権裁判に苦慮されていた姿が想い出される。門主になられてからは、大護摩堂の建設、日光社寺の世界遺産登録、家光公三五〇回忌を機に行つた奥の院墓所の特別公開等、英断をもつて実現に移されたことは、特筆に値する。天台宗内においては、宗議会議員を永年勤め、宗議会議長の重職をも全うし、宗機の枢要を握る宗機顧問の要職にもあつた。

鈴木常俊に接する者は、その決断の早さに、いつも驚かされる。何かことがあつて相談に行くと、手際よく「これはこう、あれはこう」と指示が飛び出す。その適確な指示は、常に先を見通す洞察力と英明さが必要だ。密葬は、平成十六年十二月三十日、しめやかに営まれた。

菅原は、平成一十六年二月十四日、午後二時から、栃木県日光市の日光山輪王寺門跡で執行予定。



追悼

自ら招いた マスメディアの危機

報道だと抗議した。一方こ

めくもやばり事実誤認の虚偽

の過熱取材。これがヨソ様

てきたマスメディアの主張

いてくる。

コンパス

天台宗機関顧問
杉谷 義純

何と、四年も前に

れを受けた朝日は自信タツ

に対するものならば有名祝

しも一致しないことがしば

か。

或る人々が「真理である

を追うごとに増え続けている

鳥取県の三徳山の門前町・

を持っており、地域活性化な

京都市の妙法院門跡(菅

午後一

師の青空説法などの企画を予

滋賀県大津市と鳥取県三朝町 『坂本』 同士の交換会



雅楽を鑑賞する三朝町坂本の住民

演奏などを楽しんでいた。

和を祈る慰霊の活動を行って

宗派、教団にも偏らず、誰で

も一緒に歌えるもの。

このコンサートは岡山空

宗派、教団にも偏らず、誰で

デスクから

一月は、仕事始めの日に、

を追うごとに増え続けている

示寂

小作 貞隆師

千葉・薬王寺

『祈り』をテーマに歌詞募集

六月にヒーリングコンサートを開催

宗派、教団にも偏らず、誰で

宗派、教団にも偏らず、誰で

宗派、教団にも偏らず、誰で

天台宗務庁 総本山延暦寺御用達

お数珠専門の老舗 小野珠数店

〒604-8045 京都市中京区寺町通蛸薬師下丸福寺前町272

電話 075 (221) 2608 番
FAX 075 (256) 3288 番

〒七〇一-二二二 岡山市尾上二七七〇
RNN人道援助NGOネットワーク事務局
(電話) FAX: 〇八六一二八四-一二四二

祝 新任職任命

【栃木・輪王寺】菅原榮光師
【神奈川・天徳寺】安居院昭道師
【山形・秀藏寺】大江雅宏師
【九州西・観世音寺】石田琳彰師
【神奈川・本覺寺】横溝晃信師
【群馬・長泉寺】村上澄順師
(平成16年12月16日/平成17年1月25日 法人部調)

第19回 天台宗全国一斉托鉢 報告

天台宗全国一斉托鉢は、今回で十九回目を迎え、十二月の「地球救援募金強化月間」はじめ全国で実施された托鉢や街頭募金では、大きな成果をあげました。各地の実績は次の通り。



京都教区

- 【延暦寺】天台宗務庁
①十二月一日②坂本戸別③NHK・五十七万六千二百円
【地球救援募金事務局】
③NHK海外助け合い・百万円
【延暦寺寺庭婦人会・宗務庁】
①十二月一日②京阪本駅③地球救援・一万九千六百五十五円
【天台宗務庁】
①十二月一日②JR比叡山坂本駅
③地球救援・三万二千五百八十五円
【延暦寺寺庭婦人会・宗務庁】
①十二月一日②平和堂坂本店③地球救援・三万五千七十三円
【延暦寺寺庭婦人会】
②寺庭婦人会有志一同③中越地震義援金・七万五千五百円
【滋賀・湖西部寺庭婦人会】
①十二月一日②JR堅田駅③地球



兵庫教区第二部

- 救援・二万五千八百二十九円
【滋賀教区】
①十二月一日②山東町相原、成菩提院、石堂寺、常福寺③地球救援・十七万四千四百円、NHK・十万円
【京都教区】
①十二月四日②真如堂、四条河原町交差点③地球救援・十八万四千九百二円、NHK・十八万円
【兵庫・第一部】
①十二月一日②東齋寺、善法寺、玉照院周辺③地球救援・五万七千五百円、篠山市社協・十五万円、社町社協・二万円、三田市社協・二万円
【兵庫・第三部】
①十二月一日②宝性院周辺③地球救援・十四万二千五百円、福岡町社協・十四万五千五百円
【兵庫・第四部】
①十二月一日②姫路駅、姫路城③地球救援・六万二千九百五十円
【兵庫・第五部正福寺】
①十二月一日②美万郡温泉町湯畑二地区③地球救援・六万八千五百八十九円、温泉町社協・六万円、進美寺檀信徒会・七万円
【兵庫・第六部】
①十二月四日②丹波市春日町鹿場③地球救援・五万円、丹波市社



兵庫教区第三部

- 協・五万円
【岡山・第一部】
①十二月一日②部内寺院浄財③地球救援・四万四千円
【岡山・第二部】
①十二月一日②部内寺院浄財③地球救援・八万円、山陽新聞社会事業団・八万円
【岡山・第四部】
①十一月三十日②倉敷市、玉島市街③中越地震義援金・六万八千五百十六円、台風被害義援金・六万八千五百十五円、倉敷市社協・五万円、天台仏青連盟・二万円
【岡山・第五部】
①十二月一日②部内寺院浄財③中越地震義援金・十万円
【岡山・第四部仏書】
①十一月十九日②JR倉敷駅③中越地震義援金・六万円、台風被害義援金・五万円
【山陰・第一部】
①十二月一日②三朝温泉街③中越地震義援金・十万円、三朝町社協・十二万九千五百一十一円
【山陰・第三部 第四部】
①十二月二日②安来市内③中越地震義援金・五万円、安来市社協・四万九千七百七十円
【四国教区】
①十二月三日②松山市道後商店街③中越地震、台風被害義援金・二万三千五百八十円
【九州東・第一教部】
①十二月一日②安岐町、武蔵町、国東町③地球救援・二万円
【九州東・第二教部】
①九州東・第一教部



兵庫教区第四部

- 【九州東第三教部】
①十二月一日②豊後高田市商店街③地球救援・十万八千一百円、交通安全協会・十万円
【九州東・第四教部】
①十二月一日②大分市街③地球救援・四万七千四百六十六円
【九州西・筑前部】
①十二月八日②福岡市南区高宮③地球救援・四万七千二百九十八円
【九州西・久留米部】
①十一月二十九日②西鉄久留米駅より一番街、二番街商店街③地球救援・二万八千五百三十二円
【九州西・柳川部】
②部内寺院浄財③地球救援・九万七千四百九十九円
【九州西・熊本部】
①十二月六日②宇土市街③地球救援・三万四千七百八十一円
【九州西・肥前東、西部】
①十二月四日②佐賀市商店街、諸



北陸教区



四国教区

- 富町太田周辺③地球救援・七万二千五百七十七円
【九州西・対馬部】
①十二月二十日②対馬市厳原町商店街③地球救援・五万八千二百二円
【三岐教区】
①十二月一日②各部主事寺院③地球救援・九万三千三百六十九円
【東海・吉祥院】
①十二月一日②知多市八幡③知多市社協・六万四千二百三十円、東海本部・十二万円
【北陸教区】
①十二月二十八日②金沢市野々町③地球救援・十二万五千五百円
【神奈川教区】
①十二月一日②JR平塚駅、川崎市銀柳街③地球救援・十五万五千三百三十九円
(次号に続く)



神奈川教区

寒行托鉢の浄財を 三千院門跡 地震・地球救援に

去る十二月二十三日、京都大原にある三千院門跡(小堀光詮門主)では、小堀門主を先頭に僧侶や寺院関係者約六十名が参加し、寒行托鉢を行った。

この日集められた浄財は、翌二十四日、大島亮幸三千院門跡執事が天台宗務庁を訪れ、新潟中越地震義援金に



二十万円、また地球救援募金に三十万円をと、西郊良光一隅を照らす運動理事長に手渡した(写真)。

素晴らしき 言葉たち Wonderful Words

親の愛をうけた人間は、その愛を子供に返し、孫に返し、子孫に返す。これは自然ですね。子孫ばかりではなく、社会全体にも返す。そういう心を持って人に接することが、私は道德の源だと思います。 『梅原猛の授業 道德』 梅原 猛著 朝日新聞社刊

例えば、生きていくものを殺してはいけない、嘘をついてはいけない、人の物を盗んではいけない、こういった教を私達は家庭の中で学び、育んでいきます。親の無償の愛を受け、育つていく過程の中で、基本的な価値観を形成するのは、そこには父親、母親の考え方が色濃く反映します。 与えられなければ、与えることができません。子どもの頃に虐待を受ければ、自分の子どもにも虐待を与